

「わくわく・のびのび」
 ・「えごも塾」を紹介し
 ます。衣食住の原点や「生
 きる力」を学ぶ、それも
 地球に優しい方法で、を
 モットーにした塾です。
 衣、オーガニックコッ
 トンの栽培からTシャツ
 を作るまでを学びます。
 食、子供たちの大好き
 なポテトフライやポップ
 コーンは畑からできるこ
 とを体験します。
 住、三匹の子豚のブー
 フーウの家。わらの
 家、木の家、レンガの家
 を皆で造ります。
 長野県の「小諸エコー
 レッジ」を拠点に、自然の
 中で思いっきり駆けずり
 回って学ぶ場です。一万

東北復興日記

41



子供たちは家の壁にタ
 ンポポや松ぼっくりを飾
 り、出来上がった小屋の



アバンティ
 代表取締役社長
 渡辺智恵子さん

「えごも塾」のびのび冒険

四千坪の敷地に体育館、野外音楽ステージ、キャンプ場、直径八畳のパオや有機農場があります。ゴールデンウイークに福島の児童養護施設の子供たちをここに招待しま

した。福島の子供たちは帰れない子、この子供たちには「自分で家は造ることができる」ということを許されま

せん。中には大震災の被る体験させようと、皆でわらの家を造りました

写真。

子供たち二十九人と、「絆ジャパン」という首都圏からのボランティアグループなど総勢九十人が三日間かけて完成しました。多くの皆さんからの寄付や、地元のわらや石を使わせてもらいま

した。

子供たちは家の壁にタンポポや松ぼっくりを飾り、出来上がった小屋の

中でベンチに座り、わらの座布団の上で大いにはしゃぎました。この家を

基地にして、夏休み、冬休み、もっと長くここに

来て、わくわくのびのび冒険をしてもらいたいと思っ

ています。

一緒にまいたえんどう豆、もう芽が出てきたそうです。数カ月後には収穫したえんどう豆を施設に送ります。プロジェクトを長く続けていきたいと思っ

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。